

十九の春（ワルツ2）

本調子

中	合	中	上、中	工	合	工	中	工	上	合	四	合	四
---	---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

四	合	四	合	四	合	四	上、中	合	上	四、中	五	合	七	の
わたしがあなたにほれた														

工	合	工	中	合	中	上、中	工	合	工	中	工	上	合	し
は ちょうど じゅうく のはるで														

四	合	上	中	工	五	合	五	七	五	工	中	上	四	合	五	ら
た いまさ りえん と いうな																

工	合	工	中	合	中	上、中	工	合	工	中	工	上	合	く
ば もとの の じゅうく にしてお														

四	合	四	四	合	四											
れ																

一、私があなたに ほれたのは ちょうど 十九の春でした
 今さら離縁と 言うならば もとの 十九に しておくれ

二、もとの十九にするならば 流れる水
 に字を書くよ 明けて8月雪も降る
 焼いた魚も泳ぎだす

三、見捨て心があるならば 早くお知らせ
 せくださいね 恋に焦がれるセミよ
 りも鳴かぬ蛩が身を焦がす

四、あなたあなたと呼んだとて あなた
 は何処の空の下 同じうるまに住み
 ながら 会えぬ我が身の切なさよ

五、奥山住まいの鶯は 庭の枯れ木で寝
 んねして 春が来るような夢を見て
 ホーケーキヨホケキヨと泣いてい
 る 花も咲くよな夢を見てホーケー
 キヨホケキヨと泣いてます